

SYLLABUS

# シラバス

令和8年度前期

作業療法士科 3年次

医療法人社団 慈恵会

神戸総合医療専門学校

作業療法士科 教育課程（令和8年度前期）

3年次

科目名	単位数	時間数	年次	時期	科目名	単位数	時間数	年次	時期
心理学	2	30	1	前期	身体障害評価学Ⅱ	1	30	1	後期
倫理学	2	30	1	前期	身体障害評価学Ⅲ	1	30	2	前期
物理学	1	15	1	前期	精神障害評価学Ⅰ	1	30	2	前期
生物学	2	30	1	前期	精神障害評価学Ⅱ	1	30	2	前期
医学英語	2	30	1	前期	身体障害治療学Ⅰ	1	30	2	前期
保健体育	1	30	1	前期	身体障害治療学Ⅱ	1	30	2	前期
情報処理演習	1	15	1	前期	身体障害治療学Ⅲ	1	30	2	前期
人間関係論	2	30	1	前期	身体障害治療学Ⅳ	1	30	2	後期
キャリア教育Ⅰ	1	15	1	後期	身体障害治療学Ⅴ	1	30	2	後期
キャリア教育Ⅱ	1	15	3	前期	身体障害治療学Ⅵ	1	30	2	後期
解剖学Ⅰ	2	60	1	前期	身体障害治療学Ⅶ	1	30	2	後期
解剖学Ⅱ	2	60	1	後期	身体障害治療学演習Ⅰ	1	30	2	前期
解剖学演習Ⅰ	1	15	1	前期	身体障害治療学演習Ⅱ	1	30	2	後期
解剖学演習Ⅱ	1	15	1	前期	精神障害治療学Ⅰ	1	30	2	前期
解剖学演習Ⅲ	1	15	1	前期	精神障害治療学Ⅱ	1	30	2	後期
解剖学演習Ⅳ	1	30	1	後期	精神障害治療学Ⅲ	1	30	2	後期
生理学Ⅰ	1	30	1	前期	発達障害治療学Ⅰ	1	30	2	前期
生理学Ⅱ	1	30	1	後期	発達障害治療学Ⅱ	1	30	2	後期
生理学Ⅲ	1	30	1	後期	高次脳機能障害治療学	1	30	2	後期
生理学演習	1	30	1	後期	日常生活活動	1	30	2	前期
運動学	1	30	1	前期	老年期障害治療学Ⅰ	1	30	2	前期
運動学演習Ⅰ	1	30	1	前期	老年期障害治療学Ⅱ	1	30	2	後期
運動学演習Ⅱ	1	30	1	後期	義肢装具学	1	30	2	後期
人間発達学	1	30	1	後期	福祉用具学	1	15	1	後期
内科学Ⅰ	1	30	1	後期	作業療法臨床技能演習	1	30	2	後期
内科学Ⅱ	1	30	2	前期	生活環境学	1	15	2	後期
臨床心理学	1	30	1	後期	地域作業療法学Ⅰ	1	30	2	後期
精神医学Ⅰ	1	30	1	後期	地域作業療法学Ⅱ	1	30	2	後期
精神医学Ⅱ	1	30	2	前期	職業関連活動	1	30	2	後期
整形外科Ⅰ	1	30	1	後期	見学実習	1	45	1	後期
整形外科Ⅱ	1	30	2	前期	観察実習	1	45	2	前期
一般臨床医学Ⅰ	1	15	2	前期	臨床評価実習	3	135	2	後期
一般臨床医学Ⅱ	1	15	2	後期	臨床実習Ⅰ	9	405	3	前期
神経内科学	1	30	2	前期	臨床実習Ⅱ	9	405	3	後期
病理学概論	1	30	1	後期	地域実習	1	45	3	前期
小児科学	1	15	2	前期	作業療法特論Ⅰ	1	30	1	前期
臨床栄養学	1	15	2	前期	作業療法特論Ⅱ	1	30	1	後期
臨床薬学	1	15	2	前期	作業療法特論Ⅲ	1	30	2	前期
リハビリテーション概論	1	30	1	前期	作業療法特論Ⅳ	1	15	2	後期
リハビリテーション医学	1	15	1	前期	総合作業療法学演習Ⅰ	3	90	3	前期
社会福祉学	1	30	1	前期	総合作業療法学演習Ⅱ	3	90	3	後期
地域ケア論	1	15	2	前期					
作業療法概論Ⅰ	1	30	1	前期	パラスポーツ特論(選択科目)	1	15	3	後期
作業療法概論Ⅱ	1	15	3	後期					
基礎作業学	1	30	1	後期					
基礎作業学演習Ⅰ	1	30	1	前期					
基礎作業学演習Ⅱ	1	30	1	後期					
作業療法管理学Ⅰ	1	15	2	前期					
作業療法管理学Ⅱ	1	15	2	後期					
身体障害評価学Ⅰ	1	30	1	後期					

# 令和8年度シラバス

## 作業療法士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
キャリア教育Ⅱ		講義・演習	井上 直樹・嘉納 綾	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
15 時間（1 単位）		8 回	3 年次	前期
授業の目的と概要				
<p>本学での学びを自己の強みとして活かし、就職活動を計画的に行えるようになることを目指す。就職活動に必要な基礎知識を身に付けるだけでなく、自身に合った就職活動を行うために、自己の価値観や強みを明確にした上で、自己PR文の作成やインターネットを介した面接など、実践的な課題に取り組む。本科目での受講を通して、明確な意思と希望をもって、キャリアを描いていく一助としたい。</p>				
到達目標				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実際に就職活動や仕事を行っていく上で、知っておくべきルールやマナーを理解し、習得する。</li> <li>2. 就職試験に向けて、自己発信力を鍛える。</li> <li>3. 自分の特性を踏まえ、今後3年程度のキャリアプランを立てることが出来る。</li> </ol>				
授業計画				
回	内容			
1	就職活動① 概要			
2	就職活動② 施設見学			
3	履歴書の書き方① 志望動機			
4	履歴書の書き方② 自己PR			
5	就職面接① 事前準備			
6	就職面接② 当日の流れ			
7	卒後のキャリア形成① 作業療法士としてのキャリア			
8	卒後のキャリア形成② スペシャリストとジェネラリスト			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート・課題	100%	授業中に行う課題で評価する。評価基準は別途示す。		
小テスト				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				

# 令和8年度シラバス

## 作業療法士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
臨床実習I		実習	嘉納 綾・岡田 誠暁 山本 翔太・井上 直樹・大永 寛	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
405 時間（9 単位）		回	3 年次	前期
授業の目的・概要				
1・2年生で学んだ知識、技術、技能、態度の統合を図り、作業療法実践能力の基礎を身につけることを目的とする。具体的には、臨床教育指導者の指導・監督のもとで典型的な障害特性を呈する対象者に対して、作業療法士としての①倫理観や基本的態度を身につける、②許容される臨床技能を実践できる、③臨床教育指導者の作業療法の臨床思考過程を説明し作業療法の計画を立案できる、ことを目指す。				
授業の到達目標				
1. 職業人として望ましい態度を身につける。 2. 責任ある行動を身につける。 3. 自己管理ができる。 4. 意欲的に取り組む姿勢を身につける。 5. 臨床教育指導者の監督・指導のもとで情報収集・面接・観察・検査測定ができる。				
6. 様々な手段で収集した情報を統合・解釈し、対象者の全体像を把握することができる。 7. 臨床教育指導者の臨床思考過程を理解し、説明できる。 8. 臨床教育指導者の監督・指導のもとで対象者への治療的介入を実施することができる。 9. 管理および運営の補助ができる。				
授業計画				
回	内容			
	① 臨床実習オリエンテーション			
	② 臨床実習前評価			
	実習前に行う			
	③ 臨床実習			
	1. 実習期間：4月～8月の9週間（1日8時間×45日）			
	2. 実習施設：病院、老人保健施設など学校が依頼し決定した施設			
	3. 実習形態：同一施設で臨床教育指導者の指導のもと作業療法実践能力の基礎を身につける			
	④ 実習セミナー I			
	1人の対象者に関して実習で得られた情報を、治療後の変化点を含めて担当教員の指導の元、まとめる			
	⑤ 実習セミナー II			
	実習セミナー I でまとめた対象者について症例報告書の形式で全体に発表する			
	⑥ レポート作成			
	臨床実習で経験した対象者の統合と解釈について、レポートを作成する			
	⑦ 実習後面談			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート・課題				
小テスト				
その他	100%	実習内容、実習セミナー I、実習セミナー II、レポートで総合的に評価する。評価基準は別途示す。		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
令和8年度臨床実習の手引き（神戸総合医療専門学校 作業療法士科）				
自由記載				
備考				
実習は対象者や関係者、実習施設の好意により行われるため、感謝と礼儀を忘れないこと。日頃から健康管理につとめ、特に実習期間は健康に留意すること。麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎・B型肝炎の抗体値が基準を満たしていることが、実習に参加する条件である。				

# 令和8年度シラバス

## 作業療法士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
地域実習		実習	嘉納 綾・岡田 誠暁 山本 翔太・井上 直樹・大永 寛	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
45 時間 （ 1 単位）		回	3 年次	前期
授業の目的・概要				
1・2年生で学んだ知識、技術、技能、態度の統合を図り、作業療法実践能力の基礎を身につけることを目的とする。具体的には、臨床教育指導者の指導・監督のもとでデイケア施設に来られる対象者に関わり、その方の暮らしを知り、地域における施設と作業療法士の役割を理解する。				
授業の到達目標				
1. 職業人として望ましい態度を身につける。 2. 責任ある行動を身につける。 3. 意欲的に取り組む姿勢を身につける。 4. 臨床教育指導者の臨床思考過程を理解し、説明できる。 5. 臨床教育指導者の監督・指導のもとで対象者への治療的介入を実施することができる。 6. 管理および運営の補助ができる。 7. 地域における施設と作業療法士の役割を説明できる。				
授業計画				
回	内容			
	① オリエンテーション			
	② 地域実習			
	1. 実習期間：4月～9月の1週間（1日8時間×5日間）			
	2. 実習施設：学校が依頼し決定したデイケア施設			
	3. 実習形態：同一施設で臨床教育指導者の指導のもと作業療法実践能力の基礎を身につける			
	③ 実習セミナー			
	施設での作業療法士の役割や治療・介入の目的などについての発表を行う			
	④ 振り返り面接			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート・課題				
小テスト				
その他	100%	実習内容・実習セミナーで総合的に評価する。評価基準は別途示す。		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
令和8年度地域実習の手引き（神戸総合医療専門学校 作業療法士科）				
自由記載				
備考				
実習は対象者や関係者、実習施設の好意により行われるため、感謝と礼儀を忘れないこと。日頃から健康管理につとめ、特に実習期間は健康に留意すること。麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎・B型肝炎の抗体値が基準を満たしていることが、実習に参加する条件である。				

科目名		授業形態	担当教員名	
総合作業療法学演習 I		講義	嘉納 綾・岡田 誠暁 山本 翔太・井上 直樹・大永 寛	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
90 時間 ( 3 単位)		45 回	3 年次	前期
授業の目的・概要				
臨床実習において作業療法の実践を行うためには、これまで学んできた基礎科目や専門科目の知識、技法を再度学び直し、整理・統合する必要がある。 本科目の目的は、対象者理解のための基本となる知識と、作業療法実践のための基本的な技能を習得することである。				
授業の到達目標				
1. 臨床現場における一般的な症例の病態を基礎科目や専門科目の知識を用いて説明できる。 2. 臨床現場における一般的な症例に対して、評価の進め方、目標設定、治療プログラムの立案に至るまでの過程を説明できる。 3. 臨床現場における一般的な症例（模擬患者）に対して、基本的な評価法、介入方法を実践できる。				
授業計画				
回	内容			
1	臨床実習対策① 評価法の確認 運動麻痺	31	生理学の知識と作業療法実践⑧ 生殖・成長と老化	
2	臨床実習対策② 評価法の確認 感覚機能	32	運動学の知識と作業療法実践① 生体力学の基礎	
3	臨床実習対策③ 評価法の確認 上肢機能	33	運動学の知識と作業療法実践② モーメント	
4	臨床実習対策④ 評価法の確認 バランス能力	34	運動学の知識と作業療法実践③ 身体とてこ	
5	臨床実習対策⑤ 評価法の確認 認知機能	35	運動学の知識と作業療法実践④ 上肢の運動	
6	臨床実習対策⑥ 評価法の確認 ADL・IADL	36	運動学の知識と作業療法実践⑤ 下肢の運動	
7	臨床実習対策⑦ 評価法の確認 高次脳機能障害	37	運動学の知識と作業療法実践⑥ 体幹の運動	
8	臨床実習対策⑧ 評価法の確認 その他の評価	38	運動学の知識と作業療法実践⑦ 姿勢	
9	臨床実習対策⑨ 観察法 症例動画を観察	39	運動学の知識と作業療法実践⑧ 歩行	
10	臨床実習対策⑩ 観察法 SOAP記録	40	ポスター発表準備① 発表内容の確認	
11	臨床実習対策⑪ 脳血管疾患へのプログラム	41	ポスター発表準備② 発表内容の整理	
12	臨床実習対策⑫ 運動器疾患へのプログラム	42	ポスター発表準備③ ポスターレイアウトの作成	
13	臨床実習対策⑬ 末梢神経損傷へのプログラム	43	ポスター発表準備④ ポスター作製と発表練習	
14	臨床実習対策⑭ 神経変性疾患へのプログラム	44	ポスター発表	
15	臨床実習対策⑮ 内部疾患・悪性腫瘍へのプログラム	45	まとめ	
16	解剖学の知識と作業療法実践① 中枢神経系			
17	解剖学の知識と作業療法実践② 末梢神経系			
18	解剖学の知識と作業療法実践③ 骨格・関節と靭帯			
19	解剖学の知識と作業療法実践④ 筋系			
20	解剖学の知識と作業療法実践⑤ 感覚器系			
21	解剖学の知識と作業療法実践⑥ 循環器・呼吸器系			
22	解剖学の知識と作業療法実践⑦ 消化器・泌尿生殖器			
23	解剖学の知識と作業療法実践⑧ 内分泌系			
24	生理学の知識と作業療法実践① 細胞の構造と機能			
25	生理学の知識と作業療法実践② 神経の構造			
26	生理学の知識と作業療法実践③ 筋と骨・運動生理			
27	生理学の知識と作業療法実践④ 感覚・泌尿器			
28	生理学の知識と作業療法実践⑤ 血液・循環器			
29	生理学の知識と作業療法実践⑥ 呼吸・酸塩基平衡			
30	生理学の知識と作業療法実践⑦ 消化・内分泌			

<b>科目名</b>
総合作業療法学演習 I

成績の評価方法と基準		
種別	割合	評価基準・その他備考
定期試験		
レポート・課題	50%	ポスター発表の内容と課題で評価する。評価基準は別途示す。
小テスト	50%	解剖学・生理学・運動学の小テストの結果で評価する。
その他		
自由記載	再試験は解剖学・生理学・運動学の筆記試験を100%として成績判定する。	
教科書		
書名	著者・編集者名	出版社名
なし		
自由記載		
参考文献		
書名	著者・編集者名	出版社名
自由記載		
備考		
<p>授業内容や順序は変更することがある。その場合は随時口頭や書面にて通知する。          将来のことを考えるためにも、将来のために今何をすればよいのかを知るためにも積極的な態度での受講を希望する。</p>		